

コロボクルはエコシステムにかなった完全黒化の高有機土壌活力肥料。多くの有用微生物〈コロボクル〉の働きで、「生態活用・永続型」のパワフルな土壌を作り上げる。肥料気のない砂質土やベタベタした粘質土、固結した土壌などに一定量混ぜることで、次第にコロコロした団粒土に変化させ、保水性・養分性良好な植栽基盤を形成する。〈エコ炭〉などとの併用でより効果を発揮する。



コロボクル (20kgビニール袋入り)

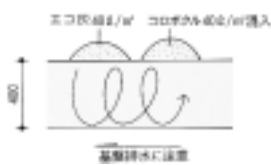
■コロボクルの6大特徴

- 1 **生態活用効果** 有用土壌微生物“コロボクル”たちのめざましい働きにより有害な微生物の活動を押し、病気に強い活力ある植物を育てます。
- 2 **土壌改良効果** “コロボクル”たちのめざましい働きにより、土壌の団粒化が促進され、水はけ、水もち、肥料もち、通気性のよい土壌になります。
- 3 **肥料効果** “コロボクル”は三大養分の他、ホルモン、ビタミン、微量元素、腐植酸を提供します。
- 4 **生育効果** 土壌が柔らかくなりますので、根がよくのび、高栄養ですから、葉や茎、花、実などが大きく、しかもおいしく、病気に強い作物に育ちます。
- 5 **経済効果** 理想的な土壌づくりを早め、しかも永続型栽培土壌の維持管理がし易くなり、長期的な経済効果は計り知れません。
- 6 **環境保全効果** 環境にやさしい土壌づくりができます。減農薬、減化学肥料が可能となり、健康管理面、経済面で期待できます。

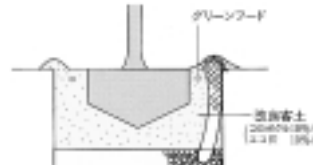
※“コロボクル”は農薬ではありません。

■植栽用としての使用例

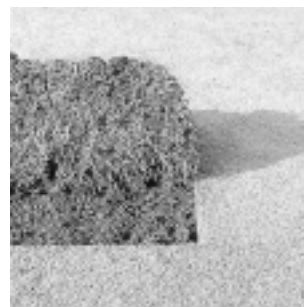
■全面改良の場合



■植穴改良の場合



■施用事例



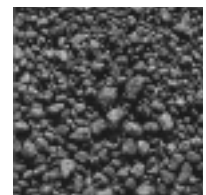
〈使用前〉



荒れた関東ローム

約1年後

〈使用後〉



ぼっかりした土壌に仕上がっている

ヒメコウライシバ *Zoysia matrella*
この芝は夏芝で、冬場は枯れこみます。それが12月10日だというのに、こんなに青青としています。元は荒れた関東ローム層の茶畑。薄茶色のやせた土です。この自然土に【コロボクル】を10kg/m²・10cm厚にすきこみましたら約一年でこの茶色の土が団粒構造の多いぼっかりした土へと変わりました。(新規ゴルフ場芝試験場での例)

■各種土壌改良材特徴比較

各種材 の特徴	生物特性		物理特性		施肥特性		
	フコク改善	菌の定着	透水性	保水性	中和	微量元素	保肥性
ゼオライト	△	△	×	○	△	×	○
バーライト	△	△	○	○	△	×	△
バーク	△	△	△	○	△	△	△
ピートモス	△	△	△	○	×	△	○
肥土(元肥)	△	△	△	○	△	△	△
コロボクル	○	○	○	○	△	△	○

【施用量】

●大きな目安としては、0坪の青
銅材と同程度量を確認し、葉
挿すだけ。
●1㎡(自然土)に、30cm厚塗り
2~10kgを撒く事で十分な効
果が得られます。

【使い方】

●自然土へのすき込み(撒布)を
行います。
●一般緑地の補給では、基礎造
成としてご使用ください。
●全面客土、他の基肥と混合製
する場合は、薬剤いすにお問
い合わせください。

【禁止】

●水害のみで緑地しない。
●根腐・根腐病を誘発しない。
●ご使用は一年以内に。